



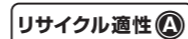
# Corporate Social Responsibility Report 2015



この印刷物は環境に配慮した植物油インキを使用しています。



見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



# Top Message

## はじめに

平田機工はステークホルダーの皆さまのご協力のもと、社会に貢献できる企業としてより高い次元を目指して努力を重ねております。本年も平田機工の技術や社会に対する考え方や取り組みをまとめて「CSR 報告書 2015」を発行いたしましたので、ご一読くださいますようお願いいたします。

## 経営理念を基盤にお客さまの信頼を得る

平田機工は 1951 年の会社設立以来、常に時代の最先端技術に挑戦し、自動車、半導体、家電などさまざまな産業分野の世界のトップメーカーに生産システムをお届けすることで、社会の発展に寄与してまいりました。また、いつの時代においても「人を活かす」「技術革新に努める」「人間尊重を貫く」「創造的人生を拓く」「社会に貢献する」「顧客を優先する」という経営理念を基盤とした事業活動に注力してまいりました。

現在の平田機工は、国内はもとより、北米、アジア、欧州の各地域に設置した営業・生産拠点との連携

により、新規案件の開発・提案から設計、部品加工、組立、試運転、生産立ち上げ、保守・サービスまでを一貫して実現できる生産体制を構築しております。このようなグローバル・ネットワークによる一貫生産体制を基盤として、「生産エンジニアリング」「ものづくり力」「サポート力」を兼ね備えた総合力を存分に発揮し、お客さまのご要望に迅速かつ柔軟に対応しております。また、世界中のどの地域においても、お客さまの生産思想を遵守し、現地の労働慣行・習慣、安全規格などの現実的課題に配慮したシステムをご提供することで、お客さまに高い信頼を得て、大規模な設備を継続して発注していただいております。

## 豊かで快適な社会のために

平田機工は、コンプライアンスおよび適時・適切な情報開示など、公平・公正な事業活動を営むことで、お客さまのみならず、従業員、調達先などのお取引先、株主・投資家、地域社会の方々など、全てのステークホルダーの皆さまとの間に強い信頼関係を築いてまいりました。この信頼関係の下に永続的な発展を

し続ける企業であることが、社会の公器としての義務であり存在意義であると考えております。

今後も平田機工は、健全で誠実な事業活動により、多様な人材の能力開発と機会提供により働く喜びが感じられる職場を創出するとともに、環境問題や地域貢献などについても企業としての責任を果たし、豊かで快適な社会の実現に向けて、CSR を推進してまいります。

## おわりに

2014 年度、平田機工は過去最高となる 521 億円の連結売上高を計上することができました。これもひとえに各ステークホルダーの皆さまのご支援の賜物と感謝しております。

この成果を基礎として 2015 年度を初年度とした新たな中期経営計画を策定いたしました。スローガンを「One Hirata For Next Stage ~ Win the race across the globe ~」とし、さらなる企業価値の向上と持続的な成長を目指してまいります。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

平田 雄一郎

## 編集方針

平田機工の事業活動と、ステークホルダーの皆さまとのかわりについて広くお伝えするために CSR 報告書 2015 を発行いたします。

本報告書を通して、ステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを密にすることにより、今後活動のレベルアップを図っていきます。皆さまからの忌憚ないご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

### 報告範囲

対象期間: 2014 年度 (2014 年 4 月 1 日 ~ 2015 年 3 月 31 日)  
対象組織: 平田機工株式会社 単体 (業績推移については連結業績を付記)

発行時期: 2015 年 8 月 (次回発行予定 2016 年 8 月)  
参照したガイドライン: GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン 3.1」  
環境省「環境報告ガイドライン (2012 年版)」

お問合せ先: 品質管理部 / TEL: 096-272-3277 FAX: 096-272-3345  
経理部 IR・広報室 / TEL: 096-272-5558 FAX: 096-272-3618  
ホームページ / <http://www.hirata.co.jp>

トップメッセージ	2
経営理念・CSR 方針	3
会社・事業概要	3
製品情報	4
トピックス	5

### マネジメント

コーポレート・ガバナンス、	6
リスクマネジメント	6
コンプライアンス・企業倫理	7

### 社会性報告

お客さまとともに	8
お取引先とともに	9
従業員とともに	10
株主・投資家とともに	13
地域社会とともに	14

### 環境報告

環境マネジメント	15
事業活動の環境配慮	17
製品の環境配慮	18



## 経営理念 CSR方針

平田機工は、経営理念、CSR方針のもと、事業活動や従業員一人一人の活動を多くのステークホルダーと互助・協調しながら、持続的に社会の発展に寄与します。

### 経営理念

- 一、人を活かす
- 一、技術革新に努める
- 一、人間尊重を貫く
- 一、創造的人生を拓く
- 一、社会に貢献する
- 一、顧客を優先する

### CSR方針

#### 1 技術革新により、社会の発展に役立つ製品をつくります。

たゆまぬ技術革新により、品質や安全、生産性に対するお客様の想いを実現することで、社会の期待に応えてまいります。

#### 2 当社に関わる全ての人の人権を尊重します。

当社に関わるひとりひとりの個性と人権を尊重し、従業員が誇りと働きがいをもてる職場をつくります。

#### 3 関係法令、社会規範および社内規程を遵守し、公正・公平な企業活動を行います。

法令等を遵守し、公正・公平な企業活動を行い、適時・適切な情報開示による透明性を確保します。また、それにより健全な投資環境を維持します。

#### 4 全てのステークホルダーと適切な関係を構築します。

取引先他、全てのステークホルダーとの互いの信頼の上に適切な関係を構築し、共に持続的な成長ができるよう協力してまいります。

#### 5 全ての企業活動において環境保全に努めると共に社会に貢献します。

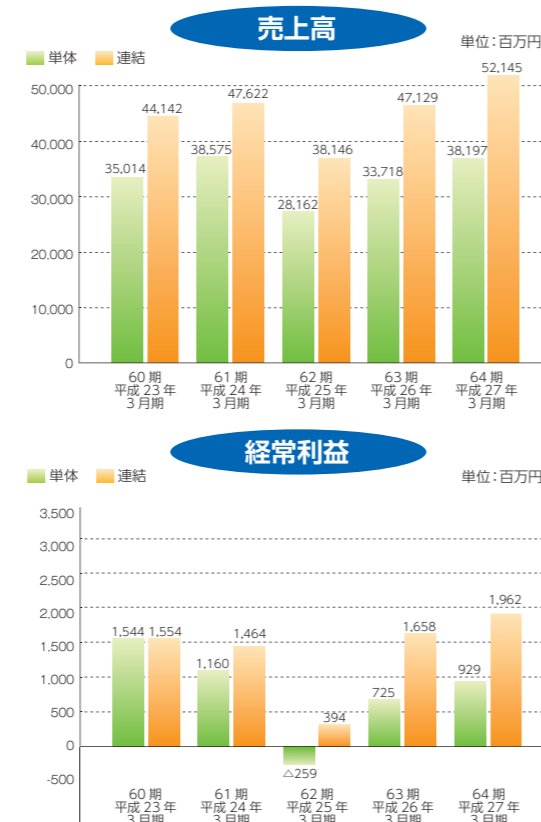
環境保全に努めることで、地域の住民の方々の安全で健康的な生活を守るとともに、積極的に社会に貢献します。

## 会社・事業 概要

<b>社名</b>	平田機工株式会社 (Hirata Corporation)
<b>本社所在地</b>	〒142-0041 東京都品川区戸越3丁目9番20号 TEL:03-3786-1226 FAX:03-3786-1264
<b>代表者</b>	代表取締役社長 平田 雄一郎
<b>設立年月日</b>	1951年12月29日
<b>決算期</b>	3月31日(年1回)
<b>従業員数</b>	連結 1,978名(うち正社員1,633名) 単体 1,265名(うち正社員 987名)
<b>資本金</b>	2,633 百万円
<b>株式</b>	東京証券取引所 JASDAQ市場上場(証券コード6258)
<b>発行済株式数</b>	10,756,090株
<b>株主数</b>	2,371名
<b>生産拠点</b>	熊本県:熊本工場、熊本東工場、 楠野工場、七城工場 栃木県:関東工場 滋賀県:関西工場

※2015年3月末現在

### 業績推移



## 製品情報

主な事業の製品をご紹介します。

### 自動車関連生産設備事業

パワートレインと呼ばれるエンジンやトランスミッションなどの動力伝達・駆動系の主要部品をはじめ、それらの制御用コンピューターなどの電子機器、各種センサーなどの車載用電子部品、空調用エアコンプレッサー、ABS ブレーキモジュール、ハイブリッド車向けのモーターや駆動用インバータなど、多岐にわたる生産設備の製造および販売を行っています。

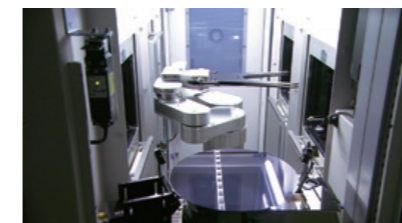


クラッチ組立ライン

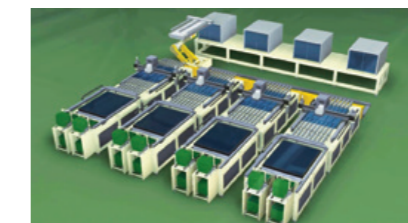
### 半導体関連生産設備事業

半導体関連生産設備では、ウェーハを各種処理装置に取り込むロードポート、大気・真空環境に対応可能なウェーハ搬送ロボットおよびそれらを統合したEFEM (Equipment front end module)などを製造・販売しています。

FPD (Flat Panel Display) 関連設備では、パネル塗布装置「ヘッドコーター」、パネル用ガラス切断装置、ガラス貼合装置などを製造・販売しています。



ウェーハ搬送ロボット



レーザーカッティングマシン

### 家電関連およびその他生産設備事業

薄型テレビ、冷蔵庫、掃除機などの家電や電子・電気機械器具メーカー向けの生産設備を製造・販売しています。

電子部品に組み込む小型コンデンサーの高速組立や、冷蔵庫、エアコン用のコンプレッサーなどさまざまな大きさ、形状の自動組立システムに対応できます。

また、自動車用タイヤの搬送設備、製造装置にも対応しています。



家電の部品組立装置





## トピックス

2014年4月から2015年3月までの主なトピックスをご紹介します。

### 有機EL関連の製造・販売の子会社KOYAを設立

2014年8月7日に有機EL関連の研究受託・開発および製造・販売などを行う株式会社KOYA(コウヤ)を、熊本県合志市に設立しました。

KOYAは有機ELのITO基盤からパネルまでを一貫して生産可能という、全国でもあまり例のない会社であり、次世代照明として期待されている有機EL照明の普及に向けて事業を展開していきます。



### ダイソン社から優良サプライヤーとして表彰

平田機工は、2014年6月11日、シンガポールにて、ダイソン社(Dyson Ltd.)から優良サプライヤーとして表彰され、記念品を受け取りました。ダイソン社は、2013年度からサプライヤーミーティングを開催しており、今回は、世界中のサプライヤーから同社の事業に多大な貢献をしたと認められた平田機工を含む4社が表彰されました。生産設備を納入する会社は平田機工のみです。これからも、お客さまの期待に応えるものづくりを研鑽していきます。



### サクラファインテックジャパン(株)と連名で日本機械工業連合会会長賞を受賞

2014年10月15日、平田機工が医療機器メーカーのサクラファインテックジャパン株式会社から設計・製造を受託している、病理標本作製の全自動連続薄切装置「ティッシュ・テック スマートセクション<sup>®</sup>」が、経済産業省および一般社団法人日本機械工業連合会主催の「第6回ロボット大賞」にて「日本機械工業連合会会長賞」をサクラファインテックジャパン(株)との連名で受賞しました。

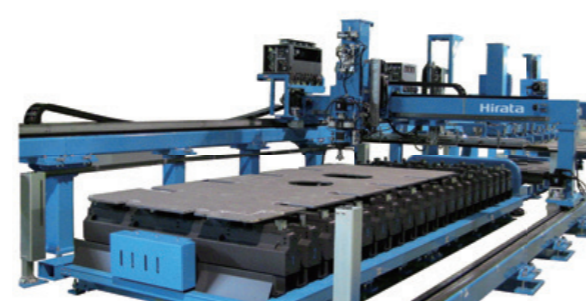


※サクラファインテックジャパン(株)の登録商標です。

### 形状認識大型鋼板R面取りシステムの開発・販売開始

平田機工は、大型鋼板の形状読み取り機能が付いた自動R面取りシステムを開発し、2014年10月から販売開始いたしました。本製品の主な機能および特長は以下のとおりです。

1. ティーチングレス：ビジョンシステムによる鋼板の形状自動読み取り
2. 完全自動化：同一方向から表裏両面のR面取り加工ができ鋼板の反転不要
3. 重労働からの解放：工数、コスト、危険作業が低減



## マネジメント

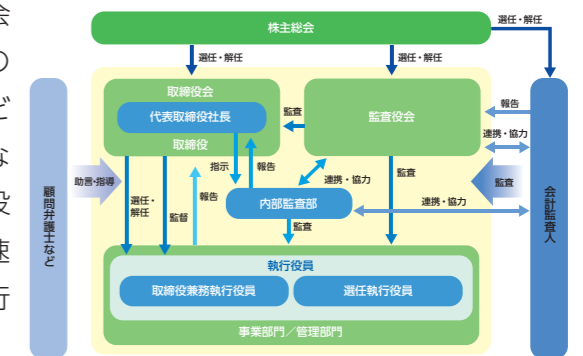


## コーポレート・ガバナンス、リスクマネジメント

すべてのステークホルダーの皆さまの信頼にお応えするため、コーポレート・ガバナンスおよびリスク管理体制の強化を図っています。

### コーポレート・ガバナンス体制

平田機工は会社の意思を決定する最高意思決定機関である取締役会、取締役の職務執行状況の適正性を監査する監査役会に加え、主に以下の各機関により、コーポレート・ガバナンス体制を構築しています。代表取締役社長の直轄部門として設置した内部監査部は、事業部門、管理部門の監査を実施しています。また、平田機工は監査法人と監査契約を締結して会計監査を受けており、随時、会計上の重要課題について相談の上、適切な処理方法についての助言を受けています。なお、コンプライアンス上の重要事項などにつきましては、必要に応じて顧問弁護士などに相談し、有用な助言を受けています。さらに、平田機工は経営会議および執行役員制度を導入しています。執行役員は各責任分野における迅速かつ確かな業務執行を行うとともに、経営会議において業務執行に係る重要事項の審議に参画しています。

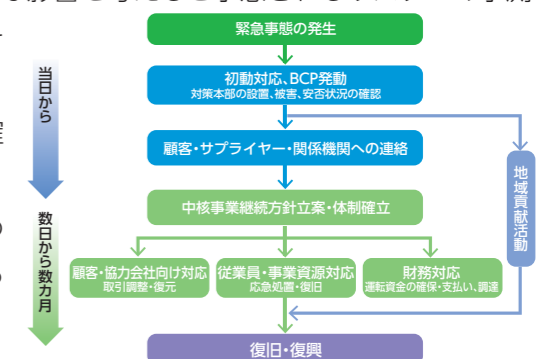


### BCP(事業継続計画)

予期せぬ災害や問題が事業の継続を危うくするような事態を避けるために、事前に想定されるリスクを抽出し、そのリスクの防止、防衛、低減を図ることで事業継続、さらにお客さまへのリスクを緩和するとともに短期間での事業回復を図ります。

- いかなる災害に被災しても事業の復旧を優先させお客さまおよび地域の要求に応えます。
- 何かの事象(災害、予期せぬこと)が起こる前に、中核事業に大きな影響を与えると予想されるリスクへの予測とその予防と復旧計画を立て、防災訓練、BCP訓練を通してその実践を継続します。
- 平常時において、緊急事態や災害時に実践する活動計画を明確にして従業員へ訓練して備えます。

また、災害時の従業員の安否確認を迅速かつ効率的に行うために、社外の安否確認システムを導入し、定期的にテスト配信による訓練をしています。



### 情報セキュリティ

平田機工は、情報および情報機器などの情報資産を漏洩や損害などの脅威から保護し、経営活動を安全に行うため、情報セキュリティ管理規程を整備するとともに情報セキュリティ委員会を中心とした管理体制を構築して、機密事項漏洩などの未然防止に努めています。



## コンプライアンス・企業倫理

公正・公平な企業活動を行うため、コンプライアンスおよび企業倫理の徹底を図っています。

### コンプライアンス憲章

#### 基本理念

平田機工株式会社およびグループ各社は、グローバルに活動する企業として国内外の関係法令、社会規範および社内規程に沿った公正性・透明性のある企業活動を行うため、遵守すべきルールである「行動規範」を制定し、コンプライアンス（法令遵守）に取り組めます。

#### 行動規範

私たちは、経営理念に基づき、お客様・株主・取引先・地域社会・従業員に対する企業としての使命と役割を自覚し、広く社会に貢献するための以下の行動規範をヒラタグループで働く全ての役員に適用し、一人ひとりがしっかりと責任をもって維持・改善していきます。

#### 1. 法令・ルールの遵守

私たちは、あらゆる企業活動において、関係法令および社内規程を常に遵守し、すべての企業活動が社会倫理に適合したものとできるよう努めます。

#### 2. 公平・公正な取引

私たちは、社会に役立つ最適・最良の製品・システムを開発・提供する企業として、顧客満足を優先し、取引先とは公平・公正かつ透明な関係を築きます。

#### 3. 企業情報の開示

私たちは、株主・投資家の皆様に対し、会社の経営内容、事業活動状況などの企業情報の開示を関係法令に従って適時、適切かつ公平な方法により行います。未公表の会社情報（インサイダー情報）の取り扱いには十分注意し、また、その情報を利用した株式等の取引や第三者への利益供与、便宜供与は行いません。

#### 4. 会社資産の適正な管理および使用

私たちは、会社の有形無形の資産を社内規程等に従い適正に管理し、私的用途に流用するなど、業務目的以外に使用しません。

#### 5. 社会への貢献

私たちは、良き企業市民として地域社会に根ざした企業であるために、環境保護と再資源化に努め、積極的に地域社会の発展に貢献します。市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力・団体に対し毅然とした行動をとるものとし、一切の関係を遮断します。

#### 6. 人間尊重

私たちは、一人ひとりの人権やプライバシー、人格・個性を尊重し、笑顔があふれる職場づくりを心がけます。

#### 7. 機密情報・個人情報等の管理

私たちは、お客様の秘密情報はもちろん、会社の機密情報や個人情報を厳重に管理し、在職中のみならず退職後も、不正または不当に開示・漏洩しません。

#### 8. 実践・報告の義務

私たちは、この行動規範に従い業務を遂行するとともに、行動規範の違反を察知した場合には速やかに報告します。その際、当該役員は、報告を行ったことに対し不利益を受けることのないよう保護されます。

### コンプライアンス教育

平田機工は、経営理念およびコンプライアンス憲章に基づき、国内外の関係法令、会社の諸規程その他社会的に要請される規範の遵守を徹底するために、従業員に対するさまざまな教育機会を設けています。全従業員に対し、コンプライアンスの必要性や考え方に関する基礎的な教育を実施するほか、法令や平田機工の諸制度の改正を踏まえながら、下請法、腐敗防止、輸出管理、機密管理、インサイダー取引防止、労務管理、労働安全、環境保全などの各種のテーマについて、階層別・部門別にプログラムを設けています。

また、コンプライアンスに関する懸念事案が発生した際には、都度、関係者に対して教育を行い、コンプライアンスに関する意識の向上に努め、再発防止につなげています。

### ヘルプライン

平田機工は、「行動規範」に基づき、従業員が法令・社内規則違反のおそれに関する問題を通報し、法令・社内規則違反の潜在的なリスクに対して早期に対処するために、2008年5月から社外通報窓口「ヒラタヘルプライン」を設置しています。「ヒラタヘルプライン」は、匿名での通報を原則としており、通報を行った者が、通報によって報復を受けることがないようにしています。

## 社会性報告

### お客さまとともに

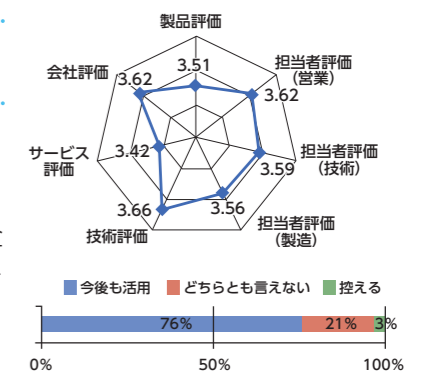
品質、安全、生産性に対するお客さまのニーズにお応えし、ご満足いただける製品やサービスの提供に努めています。

### 品質保証

平田機工では、品質マネジメントシステム(QMS)の推進体制を構築し、品質管理責任者の責任と権限のもと、部門ごとにQMSを推進し、品質保証活動に取り組んでいます。また、年2回開催のマネジメントレビュー(MR)会議において、運用状況の確認およびQMSの検討・見直しを行い、全社の品質目標、品質改善項目を決定しています。目標管理を行うことで、継続的改善および品質向上に努めています。

### 顧客満足

平田機工では、事業部ごとに、営業部門をはじめ、技術部門、製造部門など、お客さまに接する機会を通じてご意見・ご要望などを収集し、製品改善の取り組みにつなげるなど、顧客満足の向上を図っています。さらに2014年度は、全社一斉に共通の項目で顧客満足度調査を実施しました。今後、改善を進め、さらなる顧客満足の向上を目指していきます。



2014年度顧客満足度調査結果より 満足度加重平均スコア(5点満点)

## VOICE

### 使う人にも喜んでもらうものづくりを目指す

装置事業部 第一装置部 バイオ機器グループ 田川 稔也

サクラファインテックジャパン株式会社と連名にてロボット大賞・日本機械工業連合会会長賞を受賞(5ページ参照)した第一装置部 バイオ機器グループ 担当者に顧客満足向上について聞きました。

お客さまにとって、人手工程の自動化設備開発は長年の懸案で、それらの設計・製造・ソフトウェアを一括で対応できる共同開発パートナーを探されていました。平田機工は、さまざまな分野・業界で実績があり、かつ、医療機器の国際標準規格 ISO13485 を取得していたことからパートナー関係がはじまりました。

課題は、お客さまの経験・実績から導き出されたコツ、ノウハウを自動化し、さらに量産化できるようにコストダウンすること。開発時は複雑な装置内部を分かりやすくするために、各工程や細部の動きを3次元の動画で見える化し、

完成イメージを共有しながら進めました。また、病院内への搬送・設置がしやすいように、小型で使う人が各種条件の設定変更や微調整ができるようにフレキシブル構造につくり上げました。受賞決定の際、連名にすることをお客さまからご提案いただいたことから、晴れの舞台に立つことができました。お客さまの思いやりと誠意に感謝するとともに、期待に応えられた成果と誇らしく感じています。これからもお客さまの信頼に応え、使う人にも喜んでもらうものづくりを目指します。





## お取引先とともに

お取引先と長期的に良好な取引を確保するため、信頼ある協力関係の構築に努めています。

### サプライヤーミーティング

2014年5月、熊本市植木文化ホールにて、2014年度サプライヤーミーティングを開催し、129社189名のサプライヤーにご参加いただきました。

本会では、事業動向および調達方針説明の後、2013年度の平田機工との取引金額、品質・コスト・納期などにおいて優良サプライヤーと認定した9社、最優秀賞4社、海外およびサプライチェーンで著しい活躍があった特別賞2社を表彰しました。また、平田機工への理解をより深めてもらうため、熊本工場の見学も実施しました。



### サプライヤー対象 セミナー、技能講習

2014年度は、サプライヤーを対象とした溶接技能講習を8月に3回開催しました。また、サプライヤーの競争力を強化するための人材育成サポートとして、サプライヤーの経営幹部17名を対象に、専門家(プロコーチ・中小企業診断士・税理士)によるコーチング・経営・財務の勉強会を5回にわたり開催しました。これらのセミナーや技能講習は継続し、信頼ある協力関係の構築に努めます。



#### VOICE

### 親身になって考えてもらっていることに感謝

株式会社 高口精密工業 専務取締役 **高口 裕成** さま

当社は鉄やアルミなど、各種金属の精密加工会社で、25年以上のお付き合いになります。

今回、勉強会参加の機会をいただき、本当に感謝しています。コーチングの講習では、他人を紹介するというトレーニングなどにより、人を理解するためには聞き上手にならないといけないことを実感できました。また、経営の講習では自社の経営スタイルを「見える化」して強み・弱みを把握すること、財務の講習では財務分析によって自社の体質を

理解する技法を学びました。いずれも当社の事業継承や従業員とのコミュニケーション、金融機関との折衝などに役立つことばかりです。

平田機工さんがサプライヤーの育成を親身になって考えてくれることに感銘を受けると共に、学んだ知識を従業員一人一人に伝えたいと強く思いました。



## 従業員とともに

従業員の個性や人格を尊重し、誇りと働きがいをもてる職場づくりに取り組んでいます。

### グローバル人事ポリシー

平田グループの共通する諸制度の仕組み、運用に関する基本方針を「人事ポリシー」としてまとめ、それを基盤として具体的な施策を実施することで、従業員が仕事を通じて誇り、働きがいを持って活動ができる会社を目指します。

#### I 人権・多様性の尊重

経営理念に基づき、全ての働く人の人格・人権を尊重する。

セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、虐待、身体的懲罰、精神的・身体的強要などの過酷で非人道的な扱いは絶対に行わない。

児童労働、強制労働は絶対に行わない。

従業員一人一人を公正に評価し、雇用機会の均等を含め公平に取り扱う。国籍、人種、宗教、年齢、性別、障がいの有無、その他の理由による不当な差別及び職場でのハラスメント等の行為は、絶対に行わない。

#### II 法律を順守した人事施策の実行

それぞれの地域での労働者の権利に関する関係法令を順守する。

従業員が自由に結社することや、従業員が各国の法律に従って労働組合に加入することや、抗議行動、労働評議会などに加わる権利を尊重し、従業員個人、またはその代表者との対話に誠実に対応する。

#### III 公平・公正・透明な人事制度

諸制度の設計及び運用は従業員に納得性のあるものとし、制度の内容は正しく従業員に伝え、可能な限りオープンなものとする。

#### IV 能力開発の支援

「人を活かす」という経営理念のもと、能力開発への積極的支援を行う。

### 能力開発支援

平田機工は「人を活かす」という経営理念のもと、従業員一人一人が成長し、その能力を最大限発揮できる環境をつくるのが経営の重要課題と捉えています。その認識を踏まえ、「[人材育成]をマネジメントの基軸にする」という人事基本方針を据え、従業員の能力開発支援の強化に取り組んでいます。

2014年度は、従来の階層別教育などのカリキュラムの計画的実施に加え、専門教育、テーマ教育などのさらなる充実を図りました。特に受注生産型企業である平田機工においては、オーダープロジェクトを成功に導くためのスキルは重要で、プロジェクトマネジメント研修の実施を通して、その能力強化を図っています。また、グローバル化への対応が求められる中、今後、グローバルに活躍できる人材を着実に育成する仕組みを充実させ、従業員の成長機会を提供していきます。

#### VOICE

### 拡大するプロジェクトに活かす

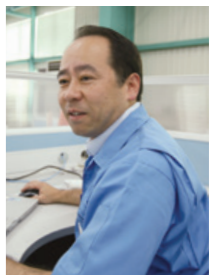
熊本事業部 第一システム部 第一営業グループ **渡邊 良一**

プロジェクトマネジメント(以下PM)研修では、PMとは何かから始まり、異なる部門のメンバーで作ったグループにより、今まで見えなかった問題点を、ホワイトボードに記載するなど科学的に分析しました。この「見える化」により、コミュニケーションエラーを無くすという共通認識ができました。

年々拡大するプロジェクトにおいて、事業所や部署などのグループで管理し、コントロールすることの難しさを

日々感じています。現在、プロジェクトの要件把握から、計画・実行・進捗管理、最終的に終結に導き、完了後、次のプロジェクトへつなげることを実践しています。

受講者が自部署で実践し、PMの重要性、必要性を全社に広げていくことで、より効果的な業務改善ができると考えます。





## 従業員とともに

### 人権・多様性の尊重

#### ■再雇用への取り組み

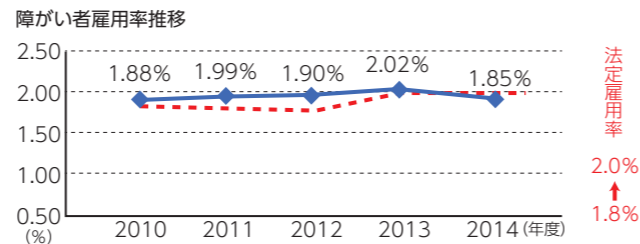
2006年度に設けた「再雇用制度」により、定年退職者が引き続きその卓越した知識、経験を活かし、優れた技能、技量を発揮できるよう再雇用契約を結んでいます。再雇用者の希望と契約業務の内容をもとに就業日数や時間を調整、考慮し、各々のライフスタイルに合わせた働き方ができるように努めています。また、2013年4月改正の高年齢者雇用安定法に基づき再雇用制度を改め、希望する社員は65歳まで再雇用しています。

60歳以上再雇用者数 (単位：人)

年度	定年退職者	再雇用希望者	再雇用者
2010	7	5	5
2011	16	11	11
2012	25	18	18
2013	23	17	17
2014	11	9	9

#### ■障がい者の積極的雇用

2014年度の障がい者雇用率は1.85%で、変更後の法定雇用率2.0%を下回る結果となりました。今後、関連機関主催の説明会への参加、特別支援学校からの実習受入などを通じて、個人と業務のマッチングを図っていきながら、法定雇用率達成に向け取り組んでいきます。



#### ■ハラスメント対策

2014年度、マネジャー職以上を対象に、過去の事例を元にしたパワーハラスメント・セクシャルハラスメント研修を実施しました。パワハラ・セクハラを身近な問題としてとらえ、部下を持つ責任において起こしてはいけないことを周知徹底することが目的です。研修は今後も定期的に実施し、より働きやすい環境整備を進めていきます。

### ワークライフバランス

平田機工では、働きやすい環境を整備し、仕事と生活の調和が図れるように「ワークライフバランス」の実現に向けた取り組みとして、① 育児休職および育児時短勤務、介護休職などの整備と充実、② 時間外労働時間の削減を推進しています。育児休職については、近年、休職取得後、時短勤務で復職し、通常の勤務に戻るケースが増えており、育児と仕事が両立できる体制が定着しています。

また、2014年度、年次有給休暇を利用して3日間以上の連続休暇を取得する「グッドライフ休暇」制度を新導入しました。心身の休息、リフレッシュすることで業務の効率化を図り、ワークライフバランスの実現につながることを期待しています。導入年度の実績は、8割弱でした。2015年度も継続し、100%取得を目指します。

育児・介護休職などの取得者数 (単位：人)

年度	2012年度	2013年度	2014年度	
育児休職	女性	6	6	15
	男性	0	1	1
育児時短勤務	女性	13	8	10
	男性	0	0	0
介護休職	女性	1	0	1
	男性	0	0	0

## 従業員とともに

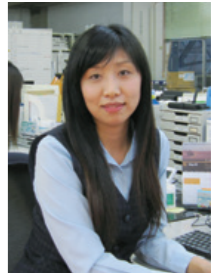
### VOICE

#### 仕事の場や人間関係も大切 ライフプランを考え直すいい機会に

##### 調達本部 管理グループ 高雪

第一子の誕生に際し、半年の入園待ちも含めて1年3カ月の育児休職を取り、現在は時短制度を利用中です。中国では、産後数カ月で仕事に復帰し、子どもの世話は両親に任せるとするのが一般的です。日本で育った私にとっては、育休と保育園の利用に何の違和感もありませんでしたが、中国の知人には驚かれました。最初は、泣くわが子を預けることにためらいもありましたが、今では育児以外の仕事の場や人間関係があることも大切と感じます。

妊娠中、室温や立ち座りなど、ちょっとしたことが体調に影響することに気づきました。これからは、事前に手を差し伸べられるよう、周囲への声掛けができるよう、後輩をサポートしたいと思います。また育休中、今後のライフプランをじっくり考え直すことができました。いい時間いい機会であったと感じています。



##### Another View

1年間の育児休職を取得した男性からは、子どもの成長を間近で見ることができ、今までとはまったく違う日常を過ごせて新鮮だったとの感想と共に、業務サポート体制などが整えば、男性でも取得できるようになるのではないかとの意見がありました。今後、子育て支援として、父親の育休取得を促進していきます。

### 労働安全衛生

平田機工では、「ゼロ災害へ全員参加」をスローガンに、各工場における安全衛生委員会、その上位会議となる全社安全衛生委員会を毎月開催し、組織的な安全衛生活動を推進しています。全社安全衛生委員会では、年間計画を立て、実施、確認、見直しというPDCAサイクルをまわしながら改善を図っています。各工場の安全衛生委員会では、パトロール結果の是正や全社安全衛生委員会で協議された内容の周知徹底などを行っています。各現場では、リスクアセスメントや朝礼時の危険予知訓練の実施を通し、平田機工・客先工場における作業時の安全確保に努めています。さらに毎年7月の「全国安全週間」には、社長をはじめとする役員全員で工場の安全パトロールを行い、現場の安全意識の向上、環境整備を図っています。2014年度は休業災害が1件発生してしまいましたが、2015年度は休業災害ゼロを改めて推進します。

#### ■安全衛生教育の実施

危険有害作業については、適切な教育および技能講習を実施し、また、雇入れ時安全衛生教育は、従業員および構内で作業する請負会社にも行っています。平田機工のルールを記載したハンドブックも配付し、安全衛生の徹底を図っています。

### TOPICS

#### AED 操作と心肺蘇生講習を実施



心筋梗塞などによる心肺停止の緊急事態が発生した際、迅速かつ適切に救命措置が行えるよう、AED・心肺蘇生訓練を毎年実施しています。また平田機工では、工場ごとにAEDを設置し、緊急時に備えています。



## 株主・投資家とともに

株主・投資家の皆さまに対し、適時適切な情報開示を行い、IRツールの充実に努めています。

### IR活動

平田機工は、株式の価格形成が公平・公正に行われるためには、適時適切に投資判断情報が提供されていることが前提となると考えています。また、市場の参加者である多数の投資家に対して、投資判断の基礎である重要な会社情報を、公平、均等、正確かつ迅速に提供することが求められると認識しています。

有価証券報告書、四半期報告書などの制度開示関連資料につきましては、企業内容を正確に、かつ適切な時期に開示できるよう、組織体制も整備しており、さらに、重要事実またはそれ以外の重要な会社情報につきましては、正式決定した場合またはその事実が発生後速やかに、当該情報を開示しています。

主なIR活動として、機関投資家など向けの決算説明会および第2四半期決算説明会、機関投資家・アナリストなどとの個別面談も実施しています。



機関投資家向け決算説明会

### IRツール

法律や金融商品取引所の規定などに基づいて作成する有価証券報告書、決算短信などのほか、平田機工では独自に以下の資料を作成することで、株主・投資家の平田機工の事業などに対する理解を深めていただくよう取り組んでいます。

#### ① 決算説明資料・四半期決算説明資料

当該期の決算概要をわかりやすく記載した資料であり、本決算および第2四半期については機関投資家向け決算説明会の資料として使用しています。



#### ③ FACT BOOK

過去5期分の連結貸借対照表、連結損益計算書、決算指標を和文・英文を併記してまとめた資料です。



#### ④ 株主総会説明資料

株主総会において説明に使用する資料です。

#### ② Hirata Report

株主の方向けに事業内容や業績・計画、トピックスなどをわかりやすく記載した報告書であり、本決算および第2四半期決算開示後に発行、郵送しています。



#### ⑤ 平田機工ホームページ内「株主・投資家の皆さまへ」

株主・投資家の皆さまへの情報を集めたページであり、株式に関する情報、個人投資家向けの会社概要情報などを掲載することで、平田機工に対する理解の促進を図っています。



※上記①から⑤の資料は平田機工ホームページに掲載しています。

## 地域社会とともに

良き企業市民として、地域社会に根ざした企業であるために、積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

### 寄付・協賛

2008年から毎年「わたしのまちの〇と×・熊本」環境フォトコンテストに協賛し、環境意識の啓発に努めています。また、2014年9月に世界ジオパークに認定された阿蘇地域の環境保全活動に寄与するため、阿蘇草原再生募金にも協力しています。



### インターンシップ

平田機工では、「就業体験型」のインターンシップを実施し、学生が就業体験を通じて、「企業で働くことはどういうことか」「勉強してきたことが、どこまで通用するのか」といったことを考える機会を提供しています。2014年度は、夏期と冬期に高専、大学、工業高校より9名のインターンシップを受け入れました。また、高校生に対しては、正しい職業観の育成や進路選択を効率よく進めることができるよう数百名の工場見学を受け入れています。そのほか、新たな取り組みとして、グローバル人材育成のために、海外関係会社(台湾)にて3名のインターンシップと、26名の工場見学受入を行いました。

### 職業講話・体験学習

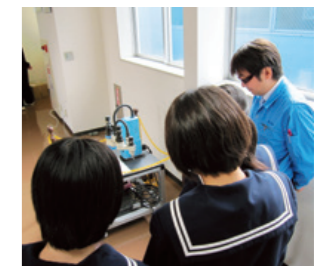
平田機工は、地域に密着した社会貢献のひとつとして、近隣の中学校に出向いての職業講話活動や、中学生を平田機工に招いての体験学習活動などを継続的に行っています。

2014年7月、熊本市立植木北中学校の2年生を対象に、平田機工の仕事内容や仕事の重要なポイントなどについて話をしました。

また、11月には、熊本本部ビル/熊本工場に熊本市立鹿南中学校の3年生10名を招いての体験学習を行いました。資料や3D動画を見ながら平田機工の仕事や製品、沿革の説明を受けた後、スカラ型ロボットのティーチング作業、職場と太陽光パネルを見学しました。参加した中学生は、平田機工のグローバル展開に驚き、普段、接することがない産業用ロボットを見て触れることで、より興味がわいた様子でした。



仕事についての質疑応答



熱心にロボットを操作

## VOICE

### 中学生からの声

#### ●「5W1H」と「ほうれんそう」 植木北中学校2年生(職業講話)

今日は仕事をするにあたって必要なことを学びました。「5W1H」や「ほうれんそう」などのおもしろい言葉もできて、非常にわかりやすく覚えやすかったです。

#### ●ロボットの進化に驚き 鹿南中学校3年生(体験学習)

ロボットに、周辺物との衝突を早期に検出して破損を防ぐ機能があることを学びました。ロボットもとても進化しているなと思いました。僕は将来、ロボットや機械関係の仕事につきたいと思っているので今回の体験学習はとても良い経験になりました。



# 環境報告



## 環境マネジメント

持続可能な社会の実現に向け、環境マネジメントシステムを構築し、全社一丸となり環境保全に取り組んでいます。

### 環境方針

平田機工では、環境方針を定め、方針に沿った環境活動の推進を行っています。事業活動、製品・サービスのあらゆる面で環境負荷低減に努めることにより、地球環境保全に貢献します。

#### 1. ISO (9001/14001) 基本方針

- お客様を第一とし、お客様に満足して頂ける高い品質の製品を提供する。
- 技術革新に努め、環境に配慮した、付加価値の高いオリジナル製品をつくる。
- 法規・規格を遵守し、安全で使い易い製品をつくる。
- EMS と QMS の有効性の継続的な改善を通して、汚染の予防と品質向上に努める。

EMS: Environmental Management Systems (環境マネジメントシステム)  
QMS: Quality Management Systems (品質マネジメントシステム)

#### 2. 環境方針詳細

- 生産エンジニアリングの実現により、ライフサイクルを考慮した環境負荷低減商品の生産に努める。
  - 製品の省エネ化推進
  - リサイクル可能な製品の設計・製造の推進
  - 製品に使用する有害物質の削減
- 環境関連の法規、協定、要求事項および必要に応じて設定した自主基準を遵守する。また関係する官公庁との連携・協力関係を構築し、地域に貢献する。
- 持続可能な社会の構築のために、事業活動および製品の営業、設計、製造、据付、アフターサービスの全生産過程において、技術的、経済的に最大の努力をもって環境保全に努める。
  - エネルギー使用量の削減
  - 廃棄物の削減およびリサイクルの推進
  - 有害物質の削減・代替推進
  - 環境問題および環境事故発生の未然防止
- 環境教育および広報活動の実施により、環境意識の向上を図る。
- EMSを定期的に見直し、継続的な改善を図る。

### 環境マネジメントシステム

#### ■環境マネジメントシステム推進体制

平田機工では、経営者、環境管理責任者をトップとした環境マネジメントシステム(EMS)推進体制を構築し、熊本地区、関東地区および関西地区の生産拠点において、国際規格 ISO14001 の認証を取得しています。

#### ■内部監査

年1回、課長職以上で構成する監査チームによる内部監査を実施しています。監査のポイントとなる重点項目について監査員への教育を行い、単に指摘するだけでなく、改善の提案まで行うことでマネジメントシステムのレベルアップにつながる有効な監査の実施に努めています。

### 法規制遵守と汚染防止

2014年度に、熊本工場、熊本東工場および関西工場において水質汚濁防止法特定施設の設置未届の是正対応を行いました。自治体への届出を行うとともに、法規制内容の再確認および法規制遵守評価の強化により、再発防止を図りました。なお、全ての工場において年1回の排水測定を実施しており、水質汚濁防止法や自治体の上乗せ規制の基準値内であることを確認しています。

### TOPICS

#### 廃棄物処理業者の定期視察

廃棄物処理を委託している廃棄物処理業者を定期的に訪問し、平田機工から排出する廃棄物が適正に処理されているかどうかを確認しています。また、排出量が多い廃プラスチックのリサイクル化にも取り組んでいます。



### 環境目標

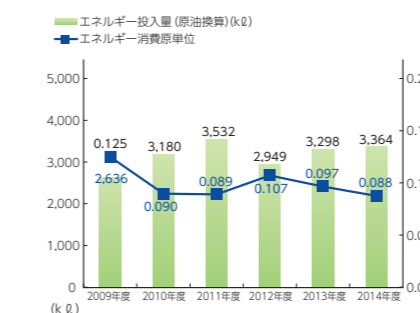
○・・・達成、△・・・ほぼ達成、×・・・未達成

項目	中長期目標(2012~2014年度)	2014年度実績	評価	2015年度活動計画
環境負荷低減商品の提供	環境配慮設計の実施	製品アセスメントを実施し、部品点数、消費電力、有害物質、廃棄物等の削減を行った。	○	製品アセスメントを継続して実施する。
化学物質有害物質対策	グリーン調達 の推進	製品含有化学物質管理の実施	△	製品含有化学物質調査の社内システム構築、サプライチェーンを含めた体制強化を図る。
	PRTR法対象物質使用量の削減	2009年度のPRTR法対象物質使用量に対し、実質生産高比10%以上の削減	○	PRTR法対象物質の代替化を進める。
水資源対策	水使用量の削減	2009年度の水使用量に対し実質生産高比5%以上の削減	○	製造工程で使用する水のリサイクルを検討する。
地球温暖化対策	エネルギー投入量の削減	2009年度のエネルギー投入量に対し実質生産高比5%以上の削減	○	省エネ設備の導入、エネルギー管理の強化により、特に電気使用量の削減に注力する。
	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	2009年度のCO <sub>2</sub> 排出量に対し実質生産高比5%以上の削減	△	
廃棄物対策	産業廃棄物排出量の削減	2009年度の廃棄量に対し実質生産高比5%以上の削減	○	廃プラスチックの再資源化を推進する。

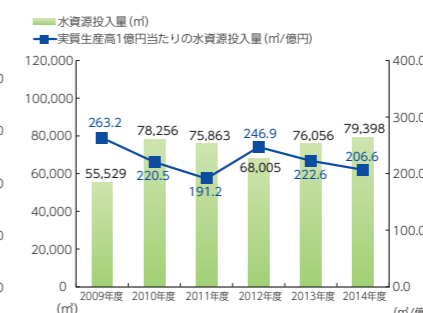
### 環境パフォーマンス

事業活動により生じる環境影響を把握し、環境目標達成に向けて環境負荷の低減に努めています。

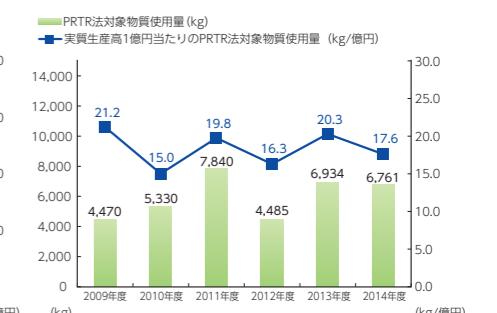
#### ■エネルギー投入量



#### ■水資源投入量



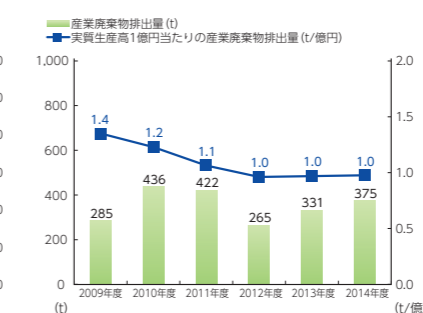
#### ■PRTR法対象物質使用量



#### ■CO<sub>2</sub>排出量



#### ■産業廃棄物排出量



※エネルギー使用、CO<sub>2</sub>排出原単位の算出には実質生産高を使用しています。



## 事業活動の環境配慮

設計開発、調達、生産など製品のライフサイクル全般にわたって環境負荷の把握・低減に積極的に取り組んでいます。

### 環境負荷

2014年度の環境負荷は以下の通りです。

インプット	平田機工の事業活動	アウトプット
<b>●エネルギー</b> 電気…………… 12,444kWh LPG…………… 79t 揮発油…………… 3t 灯油…………… 53t 軽油…………… 62t  <b>●水資源</b> 地下水…………… 67,746m <sup>3</sup> 上水…………… 11,652m <sup>3</sup>  <b>●化学物質</b> PRTR法対象物質 ……6.8t	<b>●設計開発</b>  <b>●調達</b>  <b>●生産</b> 加工 塗装 組立	<b>●大気への排出</b> CO <sub>2</sub> …………… 7,947t-CO <sub>2</sub>  <b>●廃棄物</b> 産業廃棄物…………… 375t 一般廃棄物…………… 26t 有価物…………… 724t  <b>●化学物質 (PRTR法対象物質)</b> トルエン……………3.8t キシレン……………1.0t その他……………1.9t

### 環境会計

環境保全コストの状況です。環境省「環境会計ガイドライン」を参考に、投資額と費用額に区分しています。

(単位:千円)

項目	主な取り組み内容	投資額	費用額
事業エリア内コスト	公害防止コスト	—	255
	地球環境保全コスト	1,547	30,022
	資源循環コスト	—	13,720
管理活動コスト	・環境マネジメントシステム維持 ・環境測定 ・環境教育	—	23,479
社会活動コスト	・自然保護、美化 ・環境保全団体への寄付	—	66
合計		1,547	67,542

### TOPICS

#### 省エネ・エコドライブ教育の実施

事業活動における環境負荷の中で最も大きいのがエネルギーの使用です。また、ほとんどの従業員がマイカー通勤を行っていることから、通勤時にも多くの燃料を使用します。2014年度には全従業員を対象に省エネ・エコドライブ教育を実施し、省エネの重要性、省エネ手法、エコドライブの方法などについて学びました。



関西工場での教育実施の様子

## 製品の環境配慮

製品が与える環境負荷を把握し、ライフサイクルを考慮した環境負荷低減製品の生産に努めています。

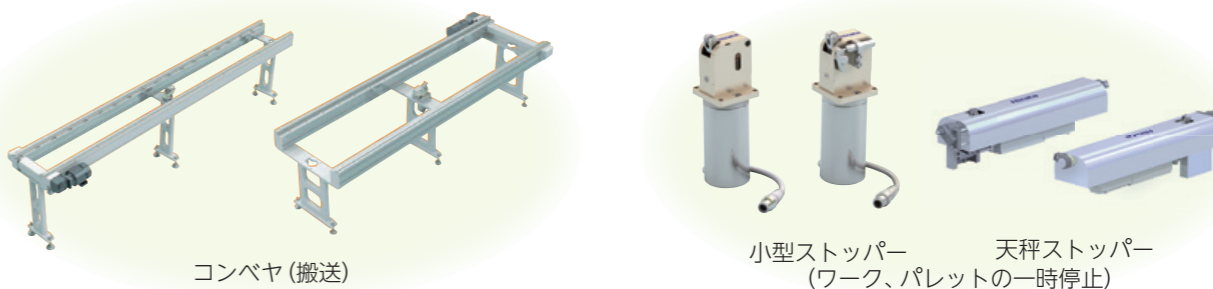
### 環境配慮製品

#### ■エコ電動シリーズ

生産性を向上し、ランニングコストを抑えるだけでなく、省エネ性能に優れた搬送関連製品をシリーズで展開しています。自動車、家電関連など、さまざまな分野で活躍でき、シリーズで使用することで、より環境に優しいものづくりを提案していきます。

#### <製品の特長>

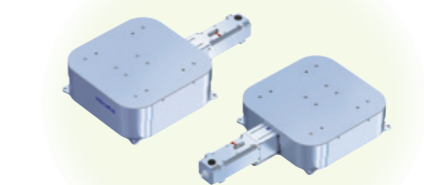
- ①省エネ:通常待機時は消費電力なし。コンプレッサーなどのエア機器一切不要。CO<sub>2</sub>排出も低減。
- ②低コスト:直流24ボルト電源だけで駆動。部品点数が減ることで、リードタイムが大幅に削減。
- ③互換性:国内大手エア機器メーカー品と同じ規格。取り替え簡単。
- ④安全:軽い抵抗で自動で止まり、挟み込みなどの危険が軽減。



コンベヤ(搬送)

小型ストッパー  
天秤ストッパー  
(ワーク、パレットの一時停止)

#### エコ電動シリーズの5つのラインアップ



ターン昇降  
(モジュールワーク、パレットの方向転換)



シリンダー(摺動動作)

### 製品含有化学物質管理への対応

欧州RoHS指令(※1)、REACH規則(※2)などの国内外の化学物質関連法規制に対応するため、製品に含まれる化学物質の管理強化を進めています。2014年度は、社内推進組織であるグリーン調達分科会を活用し、法規制や製品含有化学物質管理状況などの情報や問題点を共有し、化学物質管理が要求される製品について製品含有化学物質調査を実施しました。化学物質リスク低減のため、今後もサプライチェーンを含めた管理体制の強化に積極的に取り組んでまいります。

※1 RoHS指令:EUの有害物質規制

※2 REACH規則:EUの化学物質管理規制